

idea

NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター アイデア

2015

6月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



～ も く じ ～

- 2 | 二言三言～伝統芸能を継承する若者たち～
- 4 | 団体紹介～IKB48～(花泉)
- 5 | 地域紹介～一関 萩荘6区～(一関)
- 6 | 企業紹介～有限会社宍戸 家具の宍戸～(大東)
- 7 | センターの○○～地域担当者おすすめ！特選スイーツ！第2弾～

フタコ×ミコ 第13回 二言三言 22/123,437

伝統芸能を継承する若者たち

対談者 ぎょうざんりゅうまいかわしおどり 行山流舞川鹿子躍保存会 会員 小野寺秋悦 さん

聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹

若い世代が動き出した伝統芸能

【センター長】行山流舞川鹿子躍（以下、鹿子躍）で活躍している秋悦さんとお話する機会ができました。鹿子躍は最近若い人たちが入っていると新聞などで紹介されて注目されています。秋悦さんが入ったきっかけは何ですか。

【小野寺秋】一番初めは小学5年生の時に、当時の相川小学校では踊りを教わり、運動会で披露することが続いていました。中学・高校の時は踊る機会はなかったのですが、市役所に就職して公民館に異動した今から5年前、その公民館指導員さんが鹿子躍を踊っていた人で、誘われて始めたのが再開したきっかけです。



行山流舞川鹿子躍保存会
小野寺秋悦さん

【センター長】偶然と言うか、公民館に移り、しかも誘いが無ければ今の秋悦さんは無かったのですね。

【小野寺秋】それもありますが、家系で曾祖父、祖父も踊っていました。父はやっていませんが、二人とも保存会の会長をしていたこともあり、いずれ自分もやるのだろうとは思っていました。

【センター長】舞川の地域は郷土芸能に関しては市内では一番残っている所ですね。1区は念仏（舞川鉦太鼓念仏）、3区は神楽（蓬田神楽）、8区は獅子舞（善

楽流獅子舞）、14区は鹿子躍（行山流舞川鹿子躍）が上げられますね。

【小野寺秋】17区の大黒舞もあります。面積は広いけれど人は少ない所なのに、5つそれも種類が違うものが残っているのは凄い事だと思いますね。鹿子躍には若い子がぼっと入ったことでどんどん続き、関東方面から一関に就職して入った人や中里から練習に通っている女性などもあります。

【センター長】鹿子躍はPRがうまいのかもしれませんがね。他団体では後継者がいない、今の人数では踊る体力が無くなったなどの課題が聞こえてきます。鹿子躍は、市内では若い人が入って続けている数少ない保存会かもしれませんね。保存会の雰囲気はどうですか。

【小野寺秋】下の年代が出てきているので上の年代はあまり出てきませんが、自分が覚えてきたことを後輩に託そうとしています。後輩も上手な人の動きを見て覚えようとしているので、雰囲気としては切磋琢磨している感じです。先に上手になりたいと取り組む雰囲気は良いと思います。鹿子躍は他団体にはあまり見られない跳ぶ動きがあり、体力も必要なので踊りはなかなか難しいですが、足の上げ方や動作の流れはさすがに経験を積んだ先輩方です。

よその人も受け入れるオープンな雰囲気

【センター長】鹿子躍に若い人たちが入ってくる魅力は何でしょうか。演じたいと思ってわざわざ東京から来た人もいます。

【小野寺秋】パフォーマンス性が高いのかと思います。確かに後継者不足に悩まれた時代が5・6年前まではあったようです。それがあって、たぶん途絶えるだろうと思っていた矢先に若い人が入ってきたことで

会の考えも変わったのかと思います。

【センター長】一時の危機感を今の時代に合わせようと思ったのですかね。郷土芸能はその土地に住む人が継承するというイメージが強い。しかし、よその人、



その土地に住んでいなくてもやれるというオープンな感じにしたことはある意味成功例ですね。

【小野寺秋】若い人、よその人が入るなど新聞でも取り上げられ、後から入る人が楽になったと思います。

【センター長】現在の保存会のメンバーは何人ですか。

【小野寺秋】今は16人で活動しています。会長、副会長も自然に決まっていくようなシステムになっているところがあります。

【センター長】若い人が多くなり、鹿子躍も何かとコラボするとかアレンジするという考えはないですか。

【小野寺秋】アレンジは無いと思います。鹿子躍は8演目あって、今踊っているのは2、3演目しかない。年配者は全部演じられるのですが、私たちはまだまだです。今年の藤原祭りで演じた演目は何年振りかと聞いたら「何年か分からない」と言っていました。まずは、皆が8演目演じられるようにすることだと思います。続いてきたものを若い人が何かアレンジすることはないと思います。

【センター長】10年位前にイベント会場を使って、能役者がトランスミュージック(注:ディスコのようなテンポの高い音楽)に合わせて演じるというものがあるって、こういう伝え方もあるのかと見ていました。鹿子躍も今風の音楽に合わせてやったりという企みは無いですよ(笑)

【小野寺秋】それは無いと思います(笑)イベントとしては良いのかと思うのですが。8演目が分かるのも年配者の何人かしかいない。その人たちが抜けてしまうと勝手にアレンジになってしまう。舞川では15年前に演目をビデオに撮り、最悪踊れる人がいなくなっても何とか真似できるようにはしています。

【センター長】鹿子躍があることによって、秋悦君の

ライフスタイルの変化はありますか。

【小野寺秋】練習は週1回ですが、付き合う年代の幅が下は20代、上は80代までと広がりました。このようなつながりは地域行事に出て来ない限りできないと思います。

声をかけることから始まる参加

【センター長】地元で演じることも多くなってきていると思うのですが、プレッシャーなどは感じますか。

【小野寺秋】見てくれる方が知っている人だと、よそでやるよりもやりがいがあります。踊る機会を作ってもらったことに対して、いくらかでも良い踊りを見せたいと思います。

【センター長】保存会の活動が地元にもたらす効果は何でしょう。

【小野寺秋】舞川という地域を周りに発信していることかと思っています。今度は山形に呼ばれて行ってくるのですが、踊ることを通して県内ばかりでなく県外にまで舞川という地域を発信していけます。

やってみよう自分も声をかけられ始めました。声をかけてもダメだと思っている人が多いかもしれないけど、今の時代、誘われることが少なくなったので、逆に声をかけられると、自分を誘ってくれた=指名してもらえたような気がして、行ってみようかという気持ちになると思います。人が集まるコツは、コミュニケーションの原点回帰なのかもしれません。



基本情報

【行山流舞川鹿子躍保存会】

事務局 舞川市民センター

〒021-0221 一関市舞川字中里 84-1

TEL : 0191-28-2111 FAX : 0191-28-2341

団体 紹介



左：谷口里美さん
右：小島久美子さん

～基本情報～

- ◆事務局：いちのせきニューツーリズム協議会
- ◆連絡先：〒029-3105
一関市花泉町涌津字一ノ町 29
一関市役所花泉支所 3階
- ◆電話：0191-82-3111

かあちゃんばあちゃんパワーで一関市の良さを広めたい

一関にI K B 4 8がいる。どうやらA K Bの一関版ではないが、元気なかあちゃんばあちゃん達が一関を盛り上げる活動をしているとのことで、会員である谷口里美さんと小島久美子さんにお話を伺いました。

多彩なメンバーで一関を元気に

この会は、都市農村交流や農業体験を推進し地域の魅力を発掘・発信することを目的に、いちのせきニューツーリズム協議会の呼びかけで結成されたもので、平成24年3月に発足して今年で4年目を迎えました。当初入会条件は「48歳以上の農林業に携わる女性」とされましたが、現在は緩和されて30代から80代までの女性達48人が元気に活動しています。

「一関市全域にわたるため会員は多種多彩です。観光ガイド、食の匠、農家レストランはもちろん子育てママもいます。私は農業とのかかわりは無いのですが、一関の魅力を発信したいと思い入会しました」と谷口さん。「私は、大東の水かけ祭りに長くかかわってきました。地元の伝統行事を少しでも盛り立てようと、見物に来た人達に郷土料理を提供しています」と小島さん。お二人の話から、一関の魅力発信に頑張っている様子が伝わってきます。この会には会長や副会長などの役職を設けておらず、事務局はいちのせきニューツーリズム協議会が担当しています。年々活動も活発化してきており会員への連絡も難しくなってくるので、チームを作ってまとめ役を設ける予定があるそうです。

イベント会場は本領発揮の場

イベントがあればPR活動に出かける会員達。メインの活動は、全国地ビールフェスティバル in 一関会場での活動です。一関の魅力を知っていただく絶好の機会ととらえ、会員が作った物品を持ち寄ります。去年は、漬け物、ピーマン味噌、古代米せんべい、小菊、トルコキキョウ、大福などをクイズに当たった人達に

プレゼントしました。「地ビールフェスティバルの盛り上げ役を買って出ています。一関に来ていただいた人達においしく飲んでいただき、楽しみながら地元の物産を手にしていただく。私達はサービス精神旺盛で一関の魅力を伝えています」と自負する二人です。

また、農業祭〈一関地方産業まつり〉ではブースを設けて物品販売や、活動紹介をしています。去年は曲がりねぎの販売を行ったところ大盛況だったそうです。生産者はもちろん、会員は売り子として積極的に来客の呼び込みや販売に声を枯らし完売しました。生産者は、会の応援でたくさん売れ、働いて収入が得られるうれしさを知ったと話していたそうです。また、パネルを使って会の活動紹介も行い、積極的に自分たちの取り組んでいる事を発信しました。

さらなる交流の場を広げたい

会には機関誌「4方8報」があり、事務局が年4回発行して会員に配り活動を共有しています。また、フェイスブックを活用してリアルタイムで活動の様子を発信しています。「交流によって人脈が増えました。特に年配の方のパワーがすごく、勉強になります」と語る小島さん。4年目を迎えた会ですが、今後は、会員・地域交流を行える拠点を設け、会員の得意分野を生かせる楽しい活動を目指すそうです。さらに報酬や充実感のメリットが得られるようになれば、活動にも力が入ることでしょう。

I K B 4 8 は今日も一関の元気を発信しています。



I K B 4 8 の
公式マーク

地域 紹介



区長 小野寺國男さん

～基本情報～

- ◆区長：小野寺國男 さん（7期13年目）
- ◆41世帯149名が暮らす萩荘6区。世代間交流と防災に力を入れた地域づくりが盛んで、結婚しても地域に留まり、人口流出・人口減少がないことが自慢です。

「ここに住み続けたい」と思われる地域を目指して

みんなが住みよい地域づくりを

一関市立萩荘小・中学校から西に約2km。萩荘6区に属する下大桑地区は、周辺部を久保川が流れ、主要道路からは山林と水田の美しい里山の風景を眺めることができる長閑な農村地域です。

住民の5人に1人は未成年者と若者が多く、空き家と高齢者の独居世帯数がゼロという萩荘6区。区長である小野寺國男さんは、住民の方が「ここに住み続けたいと思う地域」を目指し地域づくりに努めてきました。今回はその活動で行ってきた3つの世代間交流事業をご紹介します。

3つの世代間交流

一つ目の三世代交流は「七夕会」です。六親会（青年部）主催で行う夏の恒例行事で、会場内外は笹や七夕飾り、紅白幕を装飾し、PTAや子ども会による歌や踊り、ビンゴ大会で盛り上げます。お昼には、さんま焼きやイカポッポ等のお料理のほか「稲作づくり体験事業」で収穫したお米でご飯を炊き、外ではポン菓子やかき氷等5～6種類の出店や流し素麺も実施。

一世帯1,000円の会費で、家族はもちろん親戚まで何人でも参加を歓迎しており、参加者50名中3分の2が子どもという、子どもに人気の行事です。

この日は防災訓練も兼ねており、過去に放水訓練、油が原因で起きる火災の対処訓練、消防署職員による講習会等を行いました。

二つ目は「稲作作り体験事業」です。一反五畝の面積の田を借り、種蒔き、田植え、草刈り、収穫までの全工程を参加者が一貫して行う行事で、毎年地区の子どもから大人まで約80名が参加。収穫される100kgのお米は他の地域行事で出す食事を使うほか、災害時の

備えとして60kgのお米をコミセンに保管。毎回の活動では、13名の炊き出し部隊がお昼におにぎりやおしるこ、秋には芋の子汁など季節に応じたお料理を用意し、災害時の炊き出し訓練も兼ねています。

最後は「さつまいも作付け体験事業」です。2,000本の苗を畑に植え、収穫の時は修紅幼稚園から100名、西光寺保育園、子ども会の児童等、地元からは60名の子どもが集まります。「参加する子どもの数だけタオルや昼食を準備するため1日がかりの行事」と小野寺さん。昼食には、毎年子どもが好きなカレーやカツ丼を用意しています。

収穫された100kgのさつまいもは、収穫した子どもに配布されるほか、一関の産業まつりで安く販売、萩荘小学校の給食にも提供したことがあるそうです。

これら3つの事業で共通して行われる昼食出しは、今から23～24年前に起きた萩荘林野火災で地区住民が避難した際に、農家の方がお米を提供したことがきっかけだといいます。以後、民区の行事がある時は、稲作作り体験事業で取れたお米を使い、おにぎりやお団子、お餅を出すようになりました。

積み重ねてきた取り組みをこれからも

小野寺さんは、区長一年目にコミセンとミニ遊園地の建設、防災無線が届きにくい地域のためコミセンの電柱に4つのスピーカーを設置し毎日有線放送を流すなど、地域の皆さんが暮らしやすくなるためのアイデアを出し、今も取り組み続けています。



七夕会では大人・子どもが一緒に
なり楽しいひと時を過ごします。

企業 紹介



店長
穴戸 武英さん

～基本情報～

- ◆店長：穴戸 武英さん
- ◆連絡先：〒029-0523
一関市大東町新右工門土手 6-2
- ◆電話：0191-75-2284
- ◆FAX：0191-75-2289

時代のニーズに合わせ地域との共存を考える

時代の移り変わり

県道 19 号一関大東線終点で、国道 343 号・国道 456 号線交差点があり、その国道 343 号線を北西に 170m ほど進むと家具の穴戸があります。目印ともなる交差点付近は、摺沢市民センターや摺沢駅、図書館やスーパーマーケットなど地域住民らが集い賑わう通りであり、内陸と沿岸を結ぶ道ともなっています。

この地に、後の有限会社穴戸を起業した先代は、千厩町奥玉で農家の長男として生まれましたが時代の変化を見越し、一関市大東町摺沢の但馬崎地区に昭和 14 年 4 月に穴戸製材所を設立。昭和 36 年から昭和 45 年の間には、家具部/建材部/インテリア部を設け、時代の変化に対応し「今地域に必要なものはなにか？」を常に考え地域とともに歩んできました。

現在の有限会社穴戸に組織変更したのは、昭和 55 年 3 月のこと。道路や周辺施設の拡張工事等もあり同年、現在地に新店舗をオープンしました。

家具販売業が地域課題の解決に一役

「昔の日本家屋には押入れがありませんでしたから、当時はタンスなどの大きな家具の流通が盛んでした。しかし、お客さんは商品を購入しても運ぶ車がないんですね。だから、無料で配送サービスを考案したり、重い家具の設置をサービスしたりと、購入された方が『次に何を必要とするか』を考えていました」と振り返るのは、同店店長の穴戸武英さん。「今の時代は、家庭に一台以上車があるでしょう。安いものを買って求め、地元じゃなく都会に目を向けたがる」と語り、「私たちは大量に発注が出来ないので大手のように安売りはできませんが、大手が出来ない地元で手の届く安心のサービスを常に心がけているのですよ」と続けます。

家具の穴戸は、平成 12 年 6 月から岩手県福祉用具事業者として認定され、福祉器具のレンタル・販売、介護保険住宅改修工事等も行っています。

「昔からの馴染みのお客さんが、年々歳をとっていくなか、『高齢化の時代に企業としてどう取り組み、地域と共存できるか？』を考えたとき、一番はやはりお客様の声だったね」と、福祉の分野に目を向けたきっかけを話す穴戸さん。現在は店舗の 3 分の 1 が福祉介護用品の展示スペースとなっており、「家具の穴戸に来れば、福祉介護用品がなんでもそろろう」と言ってもいいのではないかと思うほどその品は豊富。また、従業員のほとんどが福祉用具専門相談員の資格を持っており信頼性があります。さらに穴戸さんは福祉用具プランナーの資格も持っているため、地域のケアマネージャーと一緒に、介護用品を必要としている一人ひとりに寄り添えるよう、情報交換を欠かしません。

地域の魅力を発信

同店では、店舗スペースや駐車場を利用し、毎年ゴールデンウィーク時期に合わせて企画展「いやしの遊空間」を開催。手芸・表具・寄せ植え・木製クラフトなど市内外で活動する団体の手仕事発表の場と地域の人々に楽しんでもらうことを目的に開催しており、今年で 16 回目を迎えました。また、期間中には市内の方を講師に迎えアロマキャンドルや苔玉制作など参加型のワークショップも実施。「口コミで広がり、あっという間に定員に達しました。今後も地域の魅力を発信する意味でも継続していきたい」と意気込みを語っていただきました。



可愛らしい小物インテリアから奥ゆかしい和筆笥まで幅広い品揃えです



センターのまるまる

—地域担当者おすすめ！特選スイーツ！第2弾—

センタースタッフは、定期的に担当地域にお邪魔し、地域の方々や各種団体との情報交換・情報収集に努めています。その中の何気ない会話から、地域伝統のスイーツや郷土料理などを知ることもあります。「Hana金！～話に花咲く金曜日～」の中ではコビルと称し、地域で出会ったスイーツをご紹介します。前回idea3月号では一関市8地域の中から4地域をご紹介しますでしたが、今回はその第2弾です。

商品名：南部一郎かぼちゃまんじゅう

一関



【販売店データ】

店名：道の駅 巖美溪
住所：〒021-0101
一関市巖美町字沖野々220-1
電話：0191-29-2000

南部一郎とは、巖美町骨寺村で特産化に取り組んでいるかぼちゃで、果肉は生で食べられるほど柔らかく、糖度が20%と高いのが特徴です。餡にはペーストされたかぼちゃが使用され、饅頭は一口サイズで食べやすく深い甘味を感じます。

商品名：じゅうねもなか

東山



【販売店データ】

店名：産直センターひがしやま季節館
住所：〒029-0302
一関市東山町長坂柴宿 80-2
電話：0191-47-2919

産直センターひがしやま季節館の加工場で製造し、できたての美味しいところを販売している「じゅうねもなか」。かわいらしい笑顔のキャラクターのもなかを口に含むと、えごまの風味が口の中いっばいに広がります。

商品名：お菓子とうふ

室根



【販売店データ】

店名：朝日堂製菓
住所：〒029-1201
一関市室根町折壁1丁目6-3
電話：0191-64-3029

よく泡立てた卵白と国産大豆豆乳を合わせオーブンで焼き上げて柔らかい餡をサンドしたとてもヘルシーなお菓子です。中の餡は季節ごとに数種類ありますが、今回は黒胡麻を購入しました。生地がふわふわしっとりとしていてまさにお豆腐スイーツ。

商品名：パイたい焼き

番外編

川崎



【販売店データ】

店名：きまぐれキッチン
住所：〒029-0202
一関市川崎町薄衣字須崎 146-3
電話：0191-48-5343

川崎小学校前の国道284号線沿いにある「きまぐれキッチン」 「薄衣(うすかわ)たい焼き」の看板通り様々な種類のたい焼きがある中で、「パイたい焼き」はパリパリの皮が特徴で、焼きたてをかじる時のパリッとした食感が癖になりそうです。

Hana金 今年度も始まりました！

5月15日、今年度第1回目となる「Hana金！～話に花咲く金曜日～」を開催しました。参加者同士の自然な会話・交流の中で、お悩みの解決策を探ったり、企画を膨らませていく・・・新しいようで自然な空間です。今年度はゆる～いテーマを設け、コビルをつまみながらカフェ風のリラックスした雰囲気の中話のタネを膨らませていきました。次回の8月21日ももちろん金曜日です。みなさまのお越しをお待ちしております。

おしらせ

一関

駒澤大学吹奏楽部 in いちのせき 2015

今年創部 53 年を数える駒澤大学吹奏楽部が 2 部構成でお送りする、大学トップクラスの実力のコンサートと人々を魅了するステージマーチングショーをお楽しみください！今年度の一関文化センターの自主事業に乞うご期待！

【日時】平成 27 年 6 月 27 日（土）18:30 開演
【場所】一関文化センター大ホール
【料金】一般 2,000 円 高校生以下 1,000 円
【問合】一関文化センター
【電話】0191-21-2121

大東

大東ふるさと分校

目の前に広がる雄大な室根高原のロケーションが自慢の宿泊施設。いい汗をかいた後はゆっくりと大浴場でリフレッシュ！バリアフリーの施設構成にて、どなた様も高原の豊かな自然をお楽しみいただけます。

【連絡先】大東ふるさと分校
【所在地】一関市大東町大原字山口 51-161
【営業時間】9:00～20:00
【定休日】火曜日（6～8 月は無休）
【電話番号】0191-72-3125
【料金】コテージ 1 棟 2,100 円～
*宿泊人数により料金が異なります。
浴室利用：一人 320 円（大人）

室根

第 27 回 森は海の恋人植樹祭

平成元年から取り組んでいる「森は海の恋人植樹祭」は今年で 27 回目。「牡蠣の森を慕う会」と地元の「第 12 区自治会」が共催し植樹活動を行っております。毎年全国各地から千人をこす方々が、豊かな森と海を願い広葉樹を植樹します。また、植樹祭とあわせて「こつとんこ市」という産直も開催されます。

【日時】平成 27 年 6 月 7 日（日）9:00 受付開始/9:30 開会式
【場所】一関市室根町矢越 矢越山
【料金】無料
【連絡先】室根町第 12 区自治会/一関市室根支所 産業経済課
【電話番号】0191-64-2338（12 区代表 三浦）/0191-64-2111（室根支所）
【FAX】0191-64-2115（室根支所）
【その他】苗木、鋤は主催者側で準備しております。汚れても良い服装でお越しください。駐車場は会場内にございますが、止められる台数に限りがあります。

花泉

おはなし会

花泉図書館では、ボランティアサークル、図書館職員による絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなどが楽しめるおはなし会を開催します。毎月定期的に開催していますので、お気軽にご参加ください。

【日時】平成 27 年 6 月 14 日（日）、20 日（土）、28 日（日）
第 2・4 日曜日 11:00～11:30 第 3 土曜日 14:00～14:30
【場所】花泉図書館
【料金】無料
【問合】花泉図書館
【電話】0191-82-4939

川崎

アート創作交流

NPO 法人アートで明るく生きるかわさきでは、障がいのある方の仲間づくりや地域住民との交流を目的に、アート創作交流「てんとう虫教室」を月 2 回程度行っており、6 月は 10 日に移動研修（要事前申込、8:30 川崎防災センター集合）、23 日に調理実習、遊書を行います。一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

【日時】平成 27 年 6 月 10 日（水）・23 日（火）10:00～15:00
【場所】10 日：岩手県立美術館 23 日：川崎市民センター（旧川崎公民館）
【料金】参加料無料（お茶代、研修時入場料・昼食代等は自己負担）
【問合】NPO 法人アートで明るく生きるかわさき
【電話】0191-43-4733

一関

いわいの里ガイドの会 語り部の会

一関地方に伝わる民話や伝説を地元の言葉で語り継いでいる「いわいの里ガイドの会」の語り部が、素朴な語り口で民話の数々をご紹介します。歴史ある沼田家武家住宅で、地域に伝わるお話に耳を傾けてみませんか。

【日時】平成 27 年 6 月 12 日（金）10:00 開演
【場所】旧沼田家武家住宅
【料金】無料
【問合】旧沼田家武家住宅
【電話】0191-21-8188

東山

第 16 回 グスコブドリの大学校

「宮沢賢治作品を旅する」をテーマに開催する今回の企画は、早池峰山麓の宮沢賢治作品足跡トレッキングをはじめとした魅力的な日程で開催。リピーターの多い人気企画の為お早目にお申し込みください！

【期間】平成 27 年 7 月 26 日（日）～28 日（火）
【場所】石と賢治のミュージアム
【料金】大人 22,000 円（2 泊 5 食の宿泊代・資料代）
【問合】第 16 回グスコブドリの大学校事務局
【定員】先着 35 名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
【電話】0191-47-3655

千厩

黄金山キャンプ場びらき

キャンプ場びらき式典では太鼓演奏やフラダンスが披露され、黄金山トレッキングではトン汁が振る舞われます。ぜひご参加ください。

【日時】平成 27 年 6 月 7 日（日）
9:45～式典 11:30～黄金山トレッキング
【場所】黄金山キャンプ場（小雨決行）
※荒天の場合 式典：千厩みなみ交流センター
トレッキングは中止
【問合】小梨市民センター
【電話】0191-52-2496

藤沢

食べていがいんふじさわ スタンプラリー

食べていがいんふじさわ・食べ歩きガイドブック掲載の 16 カ所の飲食店の中で食事をしたら、応募用紙に食ラリ専用スタンプを押してもらいましょう。3 カ所からスタンプを押してもらって、応募してください。抽選で「藤沢町特産品」をプレゼント！

【期間】平成 27 年 5 月 1 日（金）～11 月 30 日（月）
抽選締切 第 1 回 8 月 31 日（月）第 2 回 11 月 30 日（月）
【応募】応募用紙に必要事項をご記入のうえ、飲食店内設置の応募箱に入れてください。
【問合】一関商工会議所藤沢支所
【電話】0191-63-2050

今月の表紙



花泉町老松にある龍雲山大祥寺は 1354 年開創の歴史ある寺院で、県指定文化財「木造十一面観音立像」が祀られています。写真は境内にある池の様子で、橋で結ばれた小島には弁財天堂が祀られています。

Q&A あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q NPO の法人格ってなんのことう？

A 法人格をもつ NPO は、「民法に基づくもの」（財団法人、社団法人など）、「特別法に基づくもの」（社会福祉法人、学校法人など）、「特定非営利活動促進法に基づくもの」（NPO 法人）に分けられます。また法人格をもたない NPO は、市民活動団体、PTA、子供会、老人クラブ、自治会、町内会などが当てはまります。

